

市民財団 ニュースレター

編集・発刊
一般財団法人
熊本芸術文化学術
振興市民財団
〒862-0959
熊本市中央区白山 1-6-31
TEL 096-366-5151
FAX 096-372-1857
E-mail official@kobai.jp
編集責任者 小野 友道
編集事務局
平成 30 年 11 月 15 日



第5回市民財団奨励賞贈呈式

左から 中村晴治 (平成音楽大学常務理事) 佐久間伸一 (熊本シティオペラ協会代表) 大江捷也 (熊本市市民財団副理事長)
小野友道 (熊本市市民財団理事長) 春日信子 (声楽家) 岩山恵美子 (平成音楽大学学部長)
(平成 30 年 5 月 26 日 平成音楽大学サテライトステージ)

30 年秋号

◇第5回市民財団

奨励賞を贈呈◇

平成 30 年 5 月 26 日、第 5 回市民財団奨励賞の贈呈を、平成音楽大学サテライトステージ(熊本市中心区)にて行いました。

平成 24 年度から、その年度の熊本において発表された芸術・文化・学術の分野で功績のあった作品について、各団体に表彰状と賞金 10 万円の贈呈を行っております。



第5回市民財団奨励賞贈呈式の様子
岩山恵美子氏 (平成音楽大学学部長)

第5回市民財団奨励賞は、新作オペラ「笛姫」全3幕(熊本シティオペラ協会)、華麗なる音楽の祭典 交響詩曲「伊東マンシヨ」時を超える祈り〜」作曲・出田敏三(平成音楽大学)、春日信子ソプラノリサイタル歌

楽「鶴」および「大中恩のせかいひとりぼっちがたまらなかつたら」の3作品に贈呈しました。



第5回市民財団奨励賞者による記念コンサート
熊本シティオペラ協会 新作オペラ「笛姫」全3幕
ピアノ 渡辺ゆみこ氏 歌 福嶋由記氏

平成 30 年 3 月、株式会社お菓子の香梅白山本社にて、第 5 回市民財団奨励賞選考委員会が開催されました。当財団の個人・法人を含む、全会員 88 名に推薦を依頼したところ、全 26 作品(重複含む)が推薦されました。その中から、大江捷也副理事長らでつくる選考委員会にて3作品が選ばれました。
贈呈式終了後は、第 5 回市民財団奨励賞受賞者らによる記念コンサートが行われました。
これまでに、平成 29 年度第 4

回市民財団奨励賞は、「第 100 回記念定期演奏会」創立 50 周年記念(熊本交響楽団)、創作舞踊劇「湯の上ものがたり」(湯の地区の歴史と文化遺産)、「湯の上ものがたり実行委員会」、「永青文庫叢書 細川家文書」全 5 冊、「熊本大学寄託永青文庫資料総目録」4 巻揃(熊本大学文学部附属永青文庫研究センター)に贈呈しました。



第5回市民財団奨励賞者による記念コンサート
春日信子氏
箏 藤川いずみ氏 歌 春日信子氏

平成 31 年 3 月頃に第 6 回市民財団奨励賞選考委員会が開催予定です。平成 31 年 1 月に、推薦紙を事務局からお届けしますので、会員の皆様による沢山のご推薦をお待ちしております。

受賞の言葉

◇新作オペラ「笛姫」全3幕◇



熊本市オペラ協会は昨年30周年を迎えました。その記念公演として、初演いたしました新作オペラ「笛姫」に対し「第5回市民財団奨励賞」をいただき、誠に有難うございました。当協会にとりまして大きな励みとなり、今後増々、オペラファンの皆様やご来場の皆様にご感動のオペラをお届けしなければと心新たにいたしております。

原作台本の大江捷也先生は、熊本市笛田神社由来の笛の伝説に着目され、古代の阿蘇を舞台に笛を好む「サクヤ役」、福嶋由記と「ヤイミ役」村上敬明が敵同士でありながら笛の演奏を通じて心を通わせあい、「愛と和解と平和を願う心」をわかりやすく構成されました。その台本に作曲を樹原孝之助氏が担当し、熊本市オペラ協会が全体の構成を行い新作オペラとして完成いたしました。

指揮・神宮章氏の情熱あふれる全曲指導と共に演出・中村敬一氏は古代の出来事を、現代も共通したテーマであると明確に表現した舞台を思考され。役付ソリスト他、熊本市オペラ協会、ヴェルディ合唱団、熊本シティフィルハーモニー管弦楽団、熊本児童合唱団、熊本バレエ研究所の出演者と舞台関係スタッフなど総勢150名余による当協会総力を挙げて

の心のこもった感動の初演となりました。



熊本市オペラ協会
左から 渡辺ゆみこ氏 福嶋由記氏 佐久間伸一代表

当協会は、2016年オペラ「椿姫」公演の熊本地震による延期により、2017年の当協会30周年記念公演シリーズに「熊本地震復興応援」を重ね、新たに「椿姫」公演を行い、5月の「佐久間伸一バスリサイタル」に続き、前記新作オペラ「笛姫」を12月に初演し計3回の

記念公演を終えることができました。又、このような、地域に密着したクラシック音楽の普及活動への貢献が全国的に高い評価を得て、「志鳥音楽賞」をいただくことができましたことは、今後の当協会活動の大きな支えになるものと考えます。

これからも誠に微力ではございますが、熊本を中心としたクラシック音楽の推進発展に務めてまいります。本格的なイタリアオペラ公演を通して、芸術性と娯楽性を合わせもつ総合芸術オペラの普及活動に取組んでおります熊本シティオペラ協会に、ご助言ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

熊本市オペラ協会代表 佐久間伸一
◇大江捷也選考委員長による選考理由◇

貴団体は創立30周年を記念して熊本の風土と歴史を反映させた「オペラ笛姫」を初演し、阿蘇の創生期を舞台に異質な文化の共存の尊重を通じて一管の笛に託して生命、愛の力、芸術の力、の大切さと平和の尊さを改めて現代に問いかけ満席の観客を感動させました。

また新聞や専門誌の報道を通じて公演の芸術的高さは全国的に注目されましたが、今後とも、さらなる作品の創出を期待して第5回市民財団奨励賞を贈ります。

◇ハーン顕彰事業

◇ハーンが見た「熊本のごころ」に後援◇

(主催 熊本八雲会・熊本アイルランド協会)

熊本ゆかりの作家、ラフカディオ・ハーン(小泉八雲)が、熊本で過ごした期間を描いた演劇舞台「ハーンが見た『熊本のごころ』」が、平成30年9月2日、熊本市市民会館シアーズホーム夢ホールで開催され、熊本市財団も後援しました。

ハーン役には、浜畑賢吉氏(俳優・大阪芸術大学舞台芸術学科長)が演じました。演劇は劇団石を中心に、ソプラノ歌手春日信子氏や子役にはNHK熊本児童合唱団が参加しました。会場は千人を超える入場者で、熊本県民の関心の深さうかがえました。熊本県山都町の清和文楽「むじな」の出演は、伝統芸能である文楽の楽しさも伝えられ、再公演を望む声など喜びの声が聞かれ、大きな成功を収められました。



受賞の言葉

◇華麗なる音楽の祭典 交響詩曲
「伊東マンショ〜時を超える祈り」
作曲 出田敬三◇



この度は「第5回市民財団奨励賞」を
頂きまして誠にありがとうございました。
この度受賞いたしました交響詩曲
「伊東マンショ〜時を超える祈り」は、
宮崎県の川南町で毎年開催されており
「モーツァルト音楽祭」の委嘱作品とし
て「宮崎県西都市都於郡に生まれ育った
伊東マンショの偉業を讃えて交響詩曲を
制作したい」と依頼され作曲しました。
作詞は歌人の伊東一彦氏（若山牧水記念
文学館館長・NHK全国短歌大会選考者）
によって、伊東マンショが天正遣欧少年
使節のリーダーとして他の3人とともに
日本を薙ち、死をも覚悟する幾多の苦難
の旅の末にローマ法王に謁見を果たすま
でを10首の短歌で詠まれたものです。2

015年、2016年の「モーツァルト
音楽祭」では交響詩曲「伊東マンショ〜
時を超える祈り」として11曲が演奏さ
れました。その後、「序曲」を作曲し、完
成版として2017年3月27日に「モ
ーツァルト音楽祭 ヨーロッパ公演」でイ
タリア・ローマの四大バシリカ（古代ロ
ーマ様式の大聖堂）の一つに数えられる
サン・ジョバンニ・イン・ラテラノ大聖堂
において、歴史的な世界初演となりまし
た。



第5回市民財団奨励賞者による記念コンサート
平成音楽大学 華麗なる音楽の祭典
「伊東マンショ〜時を超える祈り」ビデオ視聴

序曲は2016年4月の大地震後に作
曲しましたので、状況は異なりますが、
天正遣欧少年使節が長崎を出発してから

長期に渡る苦難の航海と地震後の本学の
学生たちの状況を重ね合わせ、400年
以上も前に僅か13〜15歳の少年達がロ
ーマ法王13世に謁見し西洋の地で西洋
音楽を初めて演奏した偉業と希望に向か
って進んでいく様子を讃え作曲しました。
合唱譜もカワイイ出版より全国発売され、
昨年の「華麗なる音楽の祭典」で復旧・
復興の中、この曲に全学生一丸となって
取り組み、日本の初演ができましたこと
を大変嬉しく思っておりますとともに
このような賞をいただきましたことに心
より感謝申し上げます。

これからも九州唯一の音楽大学として、
多くの皆様に素晴らしい音楽を熊本から全
国、世界に発信してまいります。
作曲家・指揮者
平成音楽大学 学長 出田敬三

◇大江捷也選考委員長による選考理由◇
平成音楽大学は学園創立45周年を記
念して開催された華麗なる音楽の祭典に
おいて、「交響詩曲伊東マンショ〜時を超
える祈り」を製作初演し、信仰とローマ
ンを命をかけて求め続けた若者の志を高
らかに歌い上げ、今を生きる人々に深い
感動を与えました。作品の芸術的高さは
多くの人々が感じるところです。

◇第4回熊本城下町菓子祭りのご案内◇



平成30年11月18日(日)(10時〜17時
30分)今年で4回目となる「熊本城下
町・菓子祭り」が熊本県護国神社境内に
て開催されます。テーマは「お菓子と文
化と芸術の祭典」です。

ステージでは、熊本城おもてなし武將
隊による演舞や、熊本県山都町の人形浄
瑠璃「むじな／雪おんな」公演のほか、
アーティストや地元小中学校吹奏楽部に
よる演奏、児童合唱団の歌声など、食べ
て、観て、触れて、盛り沢山のイベント
があります。



清和文楽公演「雪おんな」
(平成29年11月19日、第3回熊本城下町菓子祭り)

受賞の言葉

◇春日信子ソプラノリサイタル 歌楽
「鶴」及び「大中恩のせかい ひとりぼ
ちがたまたまらなかったら」◇



春日信子ソプラノリサイタル 歌楽
「鶴」及び「大中恩のせかい ひとりぼ
ちがたまたまなかったら」に対して、第
5回市民財団奨励賞をいただき、感謝申
し上げます。本来なら1年前に行うはず
だったリサイタル歌楽「鶴」でしたが、
熊本大震災と重なってしまい、延期せざ
るを得ませんでした。ようやく開催する
ことができた時、プログラム挨拶文にこ
のように書いたことが思い出されます。
「昨年の5月4日、私のリサイタルを
するはずの予定日にホールが使えず、ま
さかの延期という事態になりました。悔
しいので、その日、その時間に練習する
ことにしました。そして声を出し歌おう
とすると、なぜかこみ上げるものがあり、
ピアノストと2人で泣いてしまい、うま
く歌うことが出来ませんでした。」
地震後、あの状況の中で、音すら出す

ことができず、「歌って何？音楽って何？」
と自問自答する日々でした。しかしその
1年後、「また歌が歌える！」という喜び
を感じたことは、私の宝物となりました。
再出発の日となりました。そして、未だ
多くのホールの再稼働が叶わない中、期
せずして長年の夢である県立劇場コンサ
ートホールでの開催に繋がりました。歌
と出会って50年という節目でした。



他方、リサイタル「大中恩のせかい」

では、寺山修司詩「ひとりぼちがたま
らなかったら」を読み、魂の彷徨に魅了
され、思わずリサイタルを開いてしま
いました。全て大中恩先生の作品にす
ることを決め、リサイタルに合わせて新曲委
嘱を致しました。この時初演となった「ソ
プラノとピアノのための3つのソネット
「アマリリスに寄せて」は、大中恩先生
の最も新しい作品となり、私の人生の宝
物となりました。160本にもなるアマ
リリスの生花を用意して頂いた親戚でも
ある中村光信氏、いつも寄り添ってくれ
るピアノスト塩津貴子氏、東京から駆け

つけてくれる呉恵珠氏、踊って下さる友
人花柳如水氏、手伝ってくれたコール・
いずみ、グルッポ・ヴィーヴォの仲間た
ち、そして聴いてくださったお客様…。
音楽はひとりでは出来ません。私は何と
周りに恵まれているのだらうと、言葉で
は言い尽くせない感謝の気持ちで一杯で
す。そして、僭越ながらこの市民財団奨
励賞受賞へ繋がったことを感謝すると共
に、新たな「何か」に向かって挑戦し
たいと思います。 声楽家 春日信子



春日信子ソプラノリサイタル
「大中恩のせかい ひとりぼちがたまたまなかったら」
(平成 30 年 3 月 3 日、平成音楽大学サテライトステージ)

◇大江捷也選考委員長による選考理由◇
春日信子さんは、歌楽「鶴」と「大中
恩のせかい ひとりぼちがたまたまな
かったら」の2回にわたるリサイタルを公
演され、「歌楽」では語りと歌で日本人の

心情を深く表現し、「大中恩のせかい」で
は恩師の世界を26曲で綴りました。特に
このリサイタルのために恩師から贈られ
た「アマリリス三部作」の初演は聴衆に
感銘を与えました。

今後ともさらなる作品の創出を期待し
て第5回市民財団奨励賞に決まりました。
◇市民財団新規入会・
継続入会のご案内◇

熊本芸術文化学術振興市民財団では、
熊本芸術文化・文化・学術を支え、応援し
てくださる会員を募集しています。名義
後援事業、表彰事業などを展開しており
ます。会員になって市民財団奨励賞を推
薦するなど熊本芸術文化・学術をあ
なたの手で応援してみませんか。年会費
は次のとおりです。

- 法人・団体会員 10,000円
- 個人会員 5,000円

平成30年度会員は3月31日まで、平
成31年度会員は4月1日から入会を承
ります。申込書類を事務局からお届けし
ますのでお気軽にご連絡下さい。

(事務局・お問合せ先)

〒862-0959

熊本市中央区白山1丁目6番31号

(株式会社お菓子の香梅内)

一般財団法人熊本芸術文化学術振興市民財団

電話 096-3366-5151

FAX 096-3372-11857

(平日8時30分〜17時30分)